

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 埼玉県さいたま市
本事業の担当部局名 子ども未来局子ども育成部子ども・青少年政策課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名		さいたま市若者のライフデザイン形成支援事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)		18,169,700		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	18,169,700
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		18,169,700						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	18,169,700	0	0	0	0	18,169,700	
	対象経費支出予定額	18,169,700	0	0	0	0	18,169,700	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 令和7年度からスタートする本市のこども計画では、20代女性の有配偶率の低さや、未婚者が結婚や子育てに不安を感じている傾向があることなどの課題を踏まえ、 ・結婚や子育てに対する不安の解消や希望の形成 ・出会いの機会の創出 ・結婚後の生活支援 による「若年層に対する結婚支援の充実」を重点施策の1つに位置付ける予定であり、「子育て・孫育ての推進」や「社会全体で子育てを支える取組の強化」と併せて重点的に推進することにより、少子化対策を推進する。 <本個別事業の位置付け> 本事業は、若年層に対する継続的・包括的な結婚支援の一環として、既に全中学校で実施している赤ちゃん・幼児触れ合い体験に引き続き、二十歳を祝う式典「二十歳の集い」などを活用して、人生の大きな分岐点に向かう若者にライフデザインを考えるためのツールの提供やイベントの開催を行い、結婚や子育てに対する不安の解消や希望の形成を図るものである。 本事業を通じてライフデザインを考え、結婚への希望を持った若者には、既に県と連携して実施中のマッチングシステムなどを活用した出会いの提供や結婚後の生活支援につなげる。					
	番号	項目	内容					
	1	ライフデザインデジタルツールの提供	各ライフイベント(就学や就職、結婚、子どもを持つことなど)に関する社会動向や各種支援情報なども参照しながら、自らの将来のライフプランを考え、シミュレーションできるライフデザインデジタルツールを本市HPで提供する。 ●ライフデザインデジタルツールの主な機能 ①ホームページ上で、就学や就職、結婚、子どもを持つことなど、ライフイベントへの希望や想定時期を選択することにより、自分の人生の予定年表を作成 ②ライフイベントの選択を行う際のヒントとなるような情報(統計や意識調査の結果など)を紹介 ③ライフイベントごとの支援制度(国・県・市)などを紹介 ●周知・広報について ・市内の高校を通じて、高校生の利用も促進 ・市と若者の最大の接点である二十歳の集い(毎年1万人以上が対象)において周知啓発し、利用を促進 ・市報、市ホームページ、市公式SNS・LINE、さいたま市民アプリなどを通じ周知 ●他の結婚支援事業との連携 ライフデザインデジタルツールと市公式LINEを連携させることにより、当該ツールを通じてライフデザインを検討した経験を持つ若者に対して、継続的に就学(奨学金など)や就職(若者就労支援)などの情報のほか、市内で開催される婚活イベントや県と共同で設置しているSAITAMA出会いサポートセンターなどの結婚支援情報をプッシュ型で提供する。 ※市公式LINEには、登録者が提供を希望する情報のカテゴリとして「結婚・ライフデザイン」を設けており、関連情報をプッシュ型で提供することが可能					

個別事業の内容	2	ライフデザインイベントの開催 ライフデザインに知見のある講師とともに個別事業1のデジタルツールを活用し、自らのライフデザインを考えたり、グループワークを通じて参加者同士が交流する機会となるイベントを開催する。 ●概要 ・初年度は、開催回数1回、定員100人を想定 ・開催時期については、個別事業1とも関連し、二十歳の集い(1月)を周知の場として活用することから、2月頃を想定している。 ・講師からの講演だけではなく、個人ワークやグループワーク等を通じ、ライフデザインについて学ぶ場を提供する。 ・あわせて、同様の状況にある参加者同士の意見交換、交流を行う場とする。 ・会場は軽食(実費負担)を用意する、結婚式場を利用する、結婚や子育て経験者の実体験を紹介するなど、和やかな雰囲気、結婚や子育てに対する不安を払しょくし、希望を持ってもらいやすい雰囲気づくりを心掛ける。 ※ あくまで結婚や子を持つことについては個人の選択であるとし、価値観の押し付けとならないよう留意する。 ●周知・広報について ・市と若者の最大の接点である二十歳の集い(対象者1万人以上)において、周知。 ・市報、市ホームページ、市公式SNS・LINE、さいたま市民アプリ、個別事業1で作成したライフデザインデジタルツールなどを通じ周知。
	3	大学・企業主催ライフデザインセミナーの支援 市内の大学や企業などに自らの学生や社員などを対象とするライフデザインセミナーの開催を促し、ライフデザインに知見のある講師を派遣する。 ●概要 ・初年度は開催回数4回、各50人程度 ・7月頃より市内大学や商工会議所等関係各所に募集案内を送り、派遣時期は10月以降を想定 ・派遣するイベント内容については個別事業2に準じた形を想定している。 ●周知・広報について ・関連団体への募集案内を送付する。 ・市報、市ホームページ、市公式SNS・LINE、さいたま市民アプリ、個別事業1で作成したライフデザインデジタルツールなどを通じ周知。
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	デジタル婚活事業への新規登録者数		人増	1,700人増 (R3～R7年度)	1,418人増 (R3～R5年度)
	合計特殊出生率		人	1.42 (R11年)	1.19% (R5年)
	0～14歳の転入超過数		人	1,450 (R11年)	988 (R5年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.19 (R5年)	
	婚姻件数		件	5,825 (R5年)	
	婚姻率			4.3 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	ライフデザインデジタルツールのPV数	回	10000	---
	②	ライフデザインイベント・セミナーの参加者数	人	300	---
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R7)	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	直近の成果実績より上昇	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	89 (R11)	---
	④	将来の様々なライフイベントへの理解が深まったと答えた参加者の割合	%	80 (R7)	---
	⑤	自分のライフプランについて考えたことがある人の割合	%	60 (R11)	---
	⑥				
	⑦				
⑧					